

◆養殖業に関する指導（海藻類）

南城市モズク拠点産地協議会

水産海洋技術センター 秋田雄一

1 概要

南城市は、沖縄県において、うるま市に次ぐモズクの主要産地となっている。同市では、令和4年に「南城市モズク拠点産地協議会」を設置し、拠点産地育成計画書を定め、同年11月に県に対して農林水産戦略品目拠点産地の認定を申請し、令和5年3月2日付で認定を受けている。水産海洋技術センター

普及班は、南城市モズク拠点産地協議会から委員の委嘱を受けており、同協議会構成員の南城市及び知念漁協が実施する事業の方向性や内容についての議論に参加するため、協議会に参加した。

令和6年度における協議会での活動概要は、下記の通りであった（表1）。

表1 令和6年度に実施した南城市モズク拠点産地協議会関係の業務

開催日	会議名等	内容
令和6年5月24日	第1回 南城市モズク拠点産地協議会	今年度最初の委員会開催にあたり、委員の委嘱式があった。議事としては、南城市が行うICT導入関係の事業について、デジタル田園都市国家構想交付金（デジ田交付金）を活用し、既存のドローン空撮によるモズクの熟度判定のバージョンアップやICTブイの導入による収穫適期の判断といった事業導入（補助率1/2）について審議。支援事業へのエントリーが承認されたものの、費用負担を見て最終的に判断することとなった。
令和7年2月12日	第2回 南城市モズク拠点産地協議会	前回協議会で検討したICTの導入に関して、新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型（旧デジタル田園都市国家構想交付金）を活用しモズクの重量管理アプリ、生育メモアプリの導入について、資料をもとに事務局から説明があった。 当該機器導入に係る事業者選定は、プロポーザル形式を採用することが決議された。